

電磁波障害調査表

発生源	発生周波数	被害物	被害の種類	対策		建物用途	状況や原因	出典
				発生源に対する対策（案または実施策）	被害物に対する対策*1（案または実施策）			
～1MHz								
ケーブルレイアウト	50～60Hz	他の電子機器	干渉	電源周波数による干渉は電磁誘導によるものであり、磁性体による磁気シールドが必要となる。具体的には鋼製電線管・ダクトなどを使用する。電力線よりの干渉のみの場合は発生源側を、その他のノイズの影響もある場合は被害物側をシールドする。あるいは相互の離隔距離を広げる。		—	LAN工事など行う場合、ケーブルは電磁波からの遮蔽が不十分なため、再現性の乏しいネットワークトラブルが発生する。	http://www.syscop.com/noize/noize/html
ケーブルレイアウト	50～60Hz	電子機器	ノイズ	電源側に乗ってくるノイズは主としてインバーターや電子機器の電源装置よりの高調波であり、この対策には導電材料による電磁波シールドが必要である。あるいは相互の離隔距離を広げる。		—	上下フロアの旧式エアコンが原因、電源配線が古い事務所に入居した時など、大きいノイズ障害に結びつく場合がある。	http://www.syscop.com/noize/noize/html
家庭用電力線	50～60Hz	テレビ、ラジオ、デジタル機器	受信障害	電源側に乗ってくるノイズは主としてインバーターや電子機器の電源装置よりの高調波であり、この対策には導電材料による電磁波シールドが必要である。あるいは相互の離隔距離を広げる。		家庭	LANなどの工事の際、電力線と同じルートを使用しないで少しでも離さないと言影響が出る。（10cm以上離す）	http://www.syscop.com/noize/noize/html
モーターからの放電パルス雑音	数kHz	テレビ	受信障害	電気接点側にバリスタやコンデンサーなどの雑音吸収性能を有するパーツを付加する。	TVは機能上、対策は不可能		電氣的接点の断続により生じる放電のパルス雑音。ほかに蛍光灯、水銀灯、ネオンなど	「電磁波障害」産業図書P149
ユニバーサルモーター・バイブレーターなど利用した電化製品による放電パルス雑音	数kHz	デジタル機器（PCなど）	誤動作	同上及び電源側にノイズフィルターを付加する。	電源側にノイズフィルターを付加する。	—	パルス雑音による誤動作。	「電磁波障害」産業図書P150
PWMインバータ	10～30kHz	無人搬送車	誤動作	インバータの入力に絶縁変圧器を挿入した。		工場	インバータ入力ケーブル、アース線に1A程度の電流が流れ、無人搬送車が誤動作。	
1MHz～50MHz								
AM放送波	500kHz～1600kHz	列車	誤動作	NHK第1(594kHz300kW)、第2(693kHz500kW) 菅浦久喜放送局が原因。至近距離では99kHz間隔の高調波がVHF帯まで発生している局側での対策は不可能	久喜駅と東鷲宮駅は隣接しており、電界強度は非常に大きい、制御装置筐体の電磁シールドが必要。	電車	JR東北線東鷲宮駅で電車の全てのドアが開いた	「電磁波障害」長谷川伸原因には未確定も含む
送電線からの放電	～3MHz	ラジオ	受信障害	送電線の放電開始電圧を高くした。	対策は不可能	—	コロナ放電により電磁波を発生、ラジオの受信障害が発生。複数送電線に放電開始電圧を高くする施策が講じられ、問題も減少。	「電磁波障害」産業図書P170
電気メス	500kHz～5MHz	電子体温計	誤動作	電源回路にフィルターを付加する。	据え置き型の場合、電源側にノイズフィルターを付加する。また、筐体を電磁シールドする。通常の体温計サイズのものにはイミュニティを強化する以外対策ができない。	病院	電子体温計のデジタル表示が変動	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会
電気メス	500kHz～5MHz	心電図モニター	誤動作	電源回路にフィルターを付加する。	電源側にノイズフィルターを付加する。また、筐体を電磁シールドする。	病院	心電図モニターの波形が異常。	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会
電気メス	500kHz～5MHz	医療機器	—	電源回路にフィルターを付加する。	電源側にノイズフィルターを付加する。また、筐体を電磁シールドする。	病院	パルス性高周波により外部機器に影響。	「電磁波障害」産業図書P171
電気メス	500kHz～5MHz	シリンジポンプ	誤動作	電源回路にフィルターを付加する。	電源側にノイズフィルターを付加する。また、筐体を電磁シールドする。	病院	1990年血圧降下剤入りシリンジポンプ（輸液ポンプ）が誤動作（誤動作内容不明確）	全解明電磁波障害と対策東洋経済新報社
0.5W超の市民ラジオ違法シチズンバンド	27MHz帯	自動車	誤動作	日本国内の場合、違法出力の法的取り締まりが必要	自動車側電子機器のイミュニティを強化する。	—	米国、EFI車が急停車し、後続車が追突した改良により現在は発生しない。（大出力シチズンバンド米国では合法）	全解明電磁波障害と対策東洋経済新報社
0.5W超の市民ラジオ違法シチズンバンド	27MHz帯	電子錠	誤動作	日本国内の場合、違法出力の法的取り締まりが必要	電子錠のイミュニティを強化する。	住宅	国道沿いのマンションの電子錠が外れ、盗難発生	「電磁波障害」長谷川伸原因には未確定も含む
0.5W超の市民ラジオ違法シチズンバンド	27MHz帯	オーディオ機器 石油ファンヒーター	ノイズ 混信 誤動作	日本国内の場合、違法出力の法的取り締まりが必要	建物を電磁シールドする。 可能な機器はシールドを施す	全般 （特に幹線道路近辺）	ウォークマン、ステレオ、スピーカーからトラック無線の音が入ることがある。 夏場に放置した石油ファンヒーターのスイッチがONになり火事になったこともある。	http://www.syscop.com/noize/noize/html
0.5W超の市民ラジオ違法シチズンバンド	27MHz帯	電話	受信障害	日本国内の場合、違法出力の法的取り締まりが必要	建物を電磁シールドする。電話の引き込み線にフィルターを挿入する	—	電話に無線音などの雑音が入る	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会
0.5W超の市民ラジオ違法シチズンバンド	27MHz帯	カラオケ、オーディオ機器	混信、雑音	日本国内の場合、違法出力の法的取り締まりが必要	建物を電磁シールドする。 可能な機器はシールドを施す	店舗	カラオケ、オーディオ機器に音声や雑音が入る	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会
0.5W超の市民ラジオ違法シチズンバンド	27MHz帯	テレビ/オーディオ	ビート現象 (TV)/ラジオ受信 (オーディオ)	日本国内の場合、違法出力の法的取り締まりが必要	アンテナからの侵入には対策は不可能	—	米国向け高出力送信機の使用 第2高調波がTV・FM受信機の間周波数に合致	「電磁波障害」産業図書P145

電磁波障害調査表

発生源	発生周波数	被害物	被害の種類	対策		建物用途	状況や原因	出典
				発生源に対する対策（案または実施策）	被害物に対する対策*1（案または実施策）			
トランシーバ 合法シチズンバンド	27MHz帯	石油プラント	誤動作	このままでは対策は不可能。 周波数を変える	石油プラントのイミュニティを強化する	プラント設備	トランシーバ電波による制御系障害	「電磁波障害」長谷川伸 原因には未確定も含む
無線（違法局）	27MHz帯	交通信号機	誤動作	法的取り締まり		—	車載のCB無線機（違法）のを搭載した車両が、信号機の近傍で発信すると、架空のケーブルなどを經由して、電波が侵入し信号の制御が誤動作。	
無線（屋内通信システム）	100kHz～30MHz	ペースメーカープログラマ	心電図計測が不可能に	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。 周波数を変更する	装置のイミュニティを強化する。 測定室を電磁シールドする。	病院	テレメトリーと院内コールシステムの周波数が近似していたため。	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会
無線（主にアマチュア無線）	100kHz～30MHz	通信用受信機	受信障害	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。	受信機を改良する方法もあるが、除外する。	—	電力増幅器の使用により高調波信号（スプリアス信号）を発生。受信周波数と一致したとき受信障害発生。	「電磁波障害」産業図書 P140
無線（主にアマチュア無線）	100kHz～30MHz	来客報知器	誤動作	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。	メーカーで来客報知器を改良。	店舗	受信機がアマチュア無線の電波により、誤動作し、非来客時に作動。	
無線（主にアマチュア無線）	100kHz～30MHz	給湯器	誤動作	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。	装置または部屋をシールドする	—	無線の電波で給湯器が自動点火	「電波障害その対策と実態」 CQ出版
無線（主にアマチュア無線）	100kHz～30MHz	電話機	誤動作 混信	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。	装置のイミュニティを強化し、シールドを施す	—	無線でドアホンが鳴り、電話に雑音が入る	「電波障害その対策と実態」 CQ出版
無線（主にアマチュア無線）	100kHz～30MHz	ラジカセ	混信	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。	対策は不可能	—	音声が入る	「電波障害その対策と実態」 CQ出版
無線（主にアマチュア無線）	100kHz～30MHz	ビデオ	誤動作	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。	装置のイミュニティを強化する	—	無線によりビデオの再生中にテープが巻き戻る。	「電波障害その対策と実態」 CQ出版
無線（主にアマチュア無線）	100kHz～30MHz	電子ピアノ	混信	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。	装置のイミュニティを強化し、シールドを施す	—	音声が入る	「電波障害その対策と実態」 CQ出版
無線（主にアマチュア無線）	100kHz～30MHz	ゲーム機	誤動作	無線局のスプリアス（不要輻射）を無くす。	装置のイミュニティを強化し、シールドを施す	—	操作ボタン入力の誤動作	「電波障害その対策と実態」 CQ出版
自衛隊通信電波	40MHz帯	ワイヤレスマイク	音声混信	対策は不可能	使用周波数を200MHz帯に変更した。	事務所ビル	市ヶ谷防衛庁施設の無線電波が混信し事務所ビルの放送設備に自衛隊の通信音声が入り込んだ。	実例
50MHz～100MHz								
パーソナルコンピュータ	50MHz	アマチュア無線機	雑音混入	パソコンを電磁シールドした。	対策は不可能	木造家屋	同一家屋内1階にコンピュータ、2階に無線機を設置。無線の受信時に強い雑音が入り、受信感度が低下し通信不能となった。パソコンをシールドして解決	実例
民間FM放送局（FM802）	80.2MHz	FM音声受信機（NHK大阪2Ch）	音声受信障害	対策は不可能	2chの音声周波数は101.75MHzであり、イメージ周波数は80.35MHzとなり、FMの場合強電界地域で受信不能が発生する恐れがある。これは対策不可能	—	NHK音声受信機のイメージ周波数近くにFM放送局があり、電波の強い地域で受信障害。	「電磁波障害」産業図書 P143
ゲーム機	100MHz	鉄道無線	受信妨害	ゲーム機の電磁シールド及び電源側へのフィルター付加並びにゲームセンターの電磁シールド及び電力線にフィルターを付加する必要がある。	アンテナからの侵入には対策は不可能	—	付近のゲームセンター内のゲーム機のシールド不足によりデジタル信号漏れ。通信不能が発生。	「電磁波障害」産業図書 P167
ゲーム機	100MHz	列車の自動停止装置	誤動作	ゲーム機の電磁シールド及び電源側へのフィルター付加並びにゲームセンターの電磁シールド及び電力線にフィルターを付加する必要がある。		—	不要電磁波（ノイズ）で列車の自動停止装置が誤動作。	東京農工大 仁田名誉教授 http://www.tuat.ac.jp/lab.html#tech
ゲーム機	100MHz	パトカー警察無線	混信	ゲーム機の電磁シールド及び電源側へのフィルター付加並びにゲームセンターの電磁シールド及び電力線にフィルターを付加する必要がある。	対策は不可能	—	ゲームからの不要電磁波がパトカー無線と混信。	全解明電磁波障害と対策 東洋経済新報社
100MHz～1GHz								
FM受信機の局部発振周波数（欧米）	98.7～118.7MHz	航空無線	VOR*2	対策は不可能	対策は不可能	空港施設	航空無線108から120MHzがFM放送受信局部発進発振信号98.7から118.7MHzに重なり、航空無線の受信障害がある（欧米）。	「電磁波障害」産業図書 P169
高周波マシン	40～200MHz	NC工作機器、電話機	誤動作	発生源を電磁シールドルームに收容した。 電源に絶縁変圧器とノイズフィルターを付加した。		工場	1999年高周波マシンの作動により、NC工作機器の指示外動作、電話の着信鳴動が発生マシンのブース及び電源をシールドして解決	実例（2例あり）

電磁波障害調査表

発生源	発生周波数	被害物	被害の種類	対策		建物用途	状況や原因	出典
				発生源に対する対策（案または実施策）	被害物に対する対策* ¹ （案または実施策）			
工所用回転灯	56MHz、90~222MHz	テレビ	パルスノイズ混入	回転灯のモーターに火花防止のコンデンサまたはバリスタを取り付ける必要がある。これはメーカーに対策をとらせなければならない。	対策は不可能	一般住宅	工所用回転灯によりテレビ画面にメダカノイズが発生	事例
送電線のコロナ放電	90~220MHz	テレビ	受信障害	送電線の放電開始電圧を高くする。	対策は不可能	—	送電線碍子からのコロナ放電、付属金具の接触不良によるギャップ放電から発生する高周波域成分によりTVの受信障害発生。	「電磁波障害」産業図書P170
自動車エンジンの点火回路	300MHz	テレビ	受信障害	現在は抵抗入りシールド付き点火コードなどを使用し、自動車からのノイズは減少している。ほとんどオートバイによるもの	対策は不可能	—	エンジンの点火回路の火花放電で発生する300MHz（波長1m）のVHF帯信号が車体と共振、放射される。受信アンテナが道路側にあると影響を受ける。	「電磁波障害」産業図書P164
自動車エンジンの点火回路	300MHz	各種回路、車載機器	誤動作		自動車側電子機器のイミュニティを強化する。メーカー側で実施している	—	マイコン搭載により自動アクセルコントロール、アンチスキッド（スリップ防止）、自動ブレーキ等の各回路がパルス雑音で誤動作。例）突然アクセル全開で暴走。→外部要因も大（外部の強電磁波） 自家中毒	「電磁波障害」産業図書P165
1GHz~								
電子機器	0.5~1.5GHz* ³	他の電子機器	干渉	原因の特定は不可能 障害周波数に疑問がある。	画面の揺れは電源などの低周波磁界によるものであり、磁気シールドが必要	—	パソコンを購入設置した時に、ディスプレイの位置によって画面が揺れたり色が偏ったりする。	http://www.syscop.com/noize/noize/html
航空管制レーダー	1GHz~	電子機器	干渉	対策は不可能	建物あるいは機器にシールドを施す	空港近辺建屋	レーダーから発射される電波は強力なもので、コンクリート建屋の中でも十分に電子機器に影響を及ぼす。	http://www.syscop.com/noize/noize/html
航空機	1GHz~	画像	ひずみ		画像の歪みは低周波磁界の影響か映像信号への混信によるものであり、この周波数での影響とは考えられない。	航空管制塔	画像が歪んだ。原因は自衛隊機からの電磁波の影響である	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会
テレビのブースタ	1GHz~	航空管制レーダー	通信障害	TVブースターのゲインの上げ過ぎまたは不良による発振と思われる。適切なゲインコントロールを行うか、機器を交換する。	対策は不可能	管制塔	1983年10月、一般住宅の屋根に設置されたテレビ用のブースタが発振し、空港監視用レーダーのモニター・ディスプレイにスポーク状の妨害が入った。	1987年通信白書（不要電波問題懇談会）
携帯電話	800~900MHz、1.5GHz	シリンジポンプ	誤動作	近距離での使用を停止する。	装置筐体を電磁シールドする。	病院	1995年4月岡山市内の病院で携帯電話からの電磁波で点適用ポンプ（シリンジポンプ）が停止 ポンプ製造メーカーの調査によると35cmの距離で携帯電話を使用するとポンプが停止	佐賀新聞
携帯電話	800~900MHz、1.5GHz	電動車いす	誤動作	近距離での使用を停止する。	操作部筐体及びモーターを電磁シールドする。	病院	通産省の調査で車いすのコントローラの制御回路に電磁波や静電気が影響し、車いすが誤作動したことがわかった。（97年2月熊谷、98年3月札幌）	朝日新聞
携帯電話	800~900MHz、1.5GHz	煙感知器	誤動作	対策は不可能	感知器のイミュニティを強化する。	一般ビル	携帯電話の電波が、煙感知器の光電式センサーに反応。	週刊ダイヤモンド96/8, 17, 24合併号
電子レンジ（欧州）	12~12.5GHz	衛星放送	受信障害	電子レンジ（2.5GHz）の第5高調波のよるものと考えられる。レンジのシールドを高レベルにする。	対策は不可能	—	電子レンジから発生する高調波が欧州の衛星放送Hz（11.7から12.5GHz）の合致。日本は11.7から12GHzでOK。	「電磁波障害」産業図書P161
周波数不明								
自衛隊通信電波	長波または短波	タワークレーン	発熱、放電		鉄塔頂部にキャパシターハットを取り付ける ワイヤに導線を取付接地する 以上により同調周波数を変える	—	練馬区光が丘団地内、ビル建設現場のタワークレーンに電波が同調しクレーン鉄骨及び吊り下げワイヤーが発熱した 吊り下げワイヤー先端のフックと玉掛けワイヤー間でスパークが発生	事例
パーソナルコンピュータ	—	TV、ラジオ、通信受信機、デジタル機器	受信障害/誤動作	パソコンを電磁シールドし、電源側にフィルタを付加する。	機器を電磁シールドし、電源側にフィルタを付加する。	—	周期的なパルス列であるデジタル信号の高調波成分が高周波発振に近い性質からパルス雑音に近い性質を示し、妨害波となる。	「電磁波障害」産業図書P156
電波塔	—	ビル管理システム	誤動作	電波塔があるのならば、発信周波数は解るはず、何の電波塔なのか？	建物を電磁シールドする。	一般ビル	電波塔からの電波を天井の軽量鉄骨下地がアンテナとなり受信。	

電磁波障害調査表

発生源	発生周波数	被障害物	被害の種類	対策		建物用途	状況や原因	出典
				発生源に対する対策（案または実施策）	被障害物に対する対策* ¹ （案または実施策）			
電気毛布	—	テレメータ式心電図モニタ	心拍数のカウントミス	電源周波数による干渉と思われる。安静時の心拍数は約60回/秒であり、電源周波数に近接している、SCR制御による第2、3高調波も心拍数範囲に入る。使用を停止する。	測定部を電気毛布から離してみる。	病院	電気毛布由来の高周波成分	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会
布地の静電気放電	—	パソコン	誤動作	放電ノイズ（100k～3MHz）によるものと思われる。部屋の湿度を60%以上に調整する。	機器を電磁シールドし、接地する。	工場	1985年8月布地加工メーカーにおいて、布地製品を検査する検反機近くのパソコンが誤動作	1987年通信白書（不要電波問題懇談会）
CDカセット	—	航空機システム	ノイズ	使用を禁止する	かなりの微弱電波であり、装置側のイミュニティを強化する必要がある	—	ニューヨーク空港で「CDカセットから出た不要電波（ノイズ）による航空機の着陸時飛行不安定動作」が発生。	東京農工大 仁田名誉教授 http://www.tuat.ac.jp/lab.html#tech
ポケット型電卓	—	航空機のADF	誤動作	使用を禁止する	かなりの微弱電波であり、装置側のイミュニティを強化する必要がある	—	ポケット型電卓からの雑音によりADF（自動方向探知器）が誤動作	全解明電磁波障害と対策 東洋経済新報社
パーソナルコンピュータ	—	テレビ受信機	受信障害	パソコンを電磁シールドし、電源側にフィルターを付加する。	対策は不可能	一般住宅	パーソナルコンピュータからの電磁波により、TVが受信障害。	全解明電磁波障害と対策 東洋経済新報社
盗難防止機	—	ペースメーカ	誤動作		ペースメーカーのイミュニティを強化する。危険の表示を行う	商業ビル	ショーウィンド盗難防止機の電波による心臓ペースメーカーの動作不全	「電磁波障害」長谷川伸 原因には未確定も含む
NTT交換室内の蛍光灯の異常放電	—	電子交換機	誤動作	放電ノイズによるものと思われる。放電灯（HIDランプ）の使用を避ける	発生頻度が非常に少ないが、発生時の社会的影響が大きいため、電子交換機のイミュニティ強化が必要。	NTT局内	蛍光灯異常放電により電子交換機（デジタル機器）が誤動作。電話マヒ状態。	「電磁波障害」産業図書 P162
パンタグラフ	—	テレビ	受信障害	対策は不可能	電車線路の方向によっては、受信アンテナの指向性を上げることにより障害を軽減できる。	家庭	沿線0.5～1kmの範囲でパンタグラフ架線との断続により発生する放電雑音。→共同受信施設の設置で改善	「電磁波障害」産業図書 P166
パンタグラフ	—	料金メータ	誤動作	対策は不可能	料金メータのイミュニティを強化する。	—	電車のパンタグラフのスパークによりタクシーの料金メータが誤動作	「電磁波障害」長谷川伸 原因には未確定も含む
クレーン* ³	—	産業用ロボット	誤動作	天井走行クレーンと思われ、トロリー線ならばケーブル巻き取り式に変更する。	電磁シールドを施し、電源フィルターを入れる。	工場	不要電磁波により突然動き出し、作業者を死傷させた。	東京農工大 仁田名誉教授 http://www.tuat.ac.jp/lab.html#tech
天井走行クレーンの電気火花* ³	—	溶融炉	誤動作 死亡事故	電磁開閉器（MGS）のスパークと思われる。制御装置にシールドを施す	制御装置にシールドを施す	工場	クレーンのスイッチ火花の電磁波による制御障害を起こした溶融炉鉄鍋が傾斜	「電磁波障害」長谷川伸 原因には未確定も含む
電気溶接機	—	産業用ロボット	誤動作	単独の閉回路ができるように配線を行う	エンコーダ回路と入出力線の接地を分離し、またエンコーダ信号線を短くし、金属パイプに収めた。	工場	電気溶接機によりロボットコントローラの入出力信号機に雑音が誘起し、接地を共有しているエンコーダが誤動作。	
精密工作機	—	精密工作機	誤動作 相互干渉	電力線と信号線を隔離する。個々の信号線も単独にシールドを施す。		工場	周囲に数多くの工作機を設置。工作機の動力ラインと信号ラインが同じダクトに配線されていた。	電子技術1998.6月号
サイリスタ利用機	—	精密工作機	誤動作	電源回路にフィルターを付加する。	電源回路を分離する。信号線にシールドを施す	工場	エアコンのON/OFF時のノイズ。電圧・電流の変動により、機械が誤動作。	電子技術1998.6月号
非常用発電機	—	エレベータのモーター制御回路	誤動作	対策は不可能	モータコントロール回路を交換した。回路がイミュニティ不足	一般ビル	非常発電機のテスト中にエレベータが誤動作。モータコントローラ回路が敏感で高周波により、エレベータが誤動作。	
高周波加熱炉	—	加工機	誤動作	電源回路にフィルターを付加する。	ブレーカをそれぞれの機械で分ける。フィルターなどを付加する	工場	高周波加熱回路とブレーカが共通であった。	
不明	—	電話端末機器	通話障害			—	電話ケーブルへの妨害信号侵入	「電磁波障害」産業図書 P158
不明	—	ロボット	誤動作			工場	外来ノイズにより、ロボットが暴走し、非常停止をした。	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会
不明	—	コンピュータ	誤動作			—	コンピュータがオフになる	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会

電磁波障害調査表

発生源	発生周波数	被障害物	被害の種類	対策		建物用途	状況や原因	出典
				発生源に対する対策（案または実施策）	被障害物に対する対策 ^{*1} （案または実施策）			
不明	—	自動ドア	誤動作	27MHz帯の違法無線による発生報告がある。		—	自動ドアが勝手に作動する	建築電磁環境に関する調査研究報告書（その2）、建築電磁環境、建築学会環境工学委員会

* 1 : 被障害物側のイミュニティ強化は、対策としてそれ以外に無い場合を除き記載を除外する。

* 2 : VHF Omnidirectional Radio Beaconの受信障害

* 3 : 判断に疑問がある、推論のみで確認がなされていない